

## 別紙標準様式（第7条関係）

## 会議録

会議の名称	第2回枚方市立地域活性化支援センター利用環境充実事業者選定審査会
開催日時	令和5年(2023年)7月4日(火) 午後6時00分から 午後8時10分まで
開催場所	枚方市役所 別館4階 第3委員会室
出席者	久委員(会長)、加嶋委員(副会長)、海老原委員、中原委員、若井委員
欠席者	—
案件名	(1) 事業者の応募状況について (2) 参加資格審査について (3) プレゼンテーションについて (4) 採点について (5) その他
提出された資料等の名称	資料8 委託契約予定事業者募集に係る質疑・回答 資料9 申請団体一覧 資料10 参加資格について 資料11 選定審査表 資料12 評価コメント記入用紙
決定事項	・各申請団体の選定審査表(仮審査)及び評価コメントを令和5年7月6日(木)正午までに事務局に提出する。 ・講評(案)については、事務局にて取りまとめ令和5年7月11日開催の令和4年度第3回枚方市立地域活性化支援センター利用環境充実事業者選定審査会に提出する。
会議の公開、非公開の別及び非公開の理由	非公開 枚方市情報公開条例第5条第1項第6号に規定する「情報の公開をしないことができる情報」に該当する内容について審議するため
会議録の公表、非公表の別及び非公表の理由	本審査会の答申後に公開
傍聴者の数	—
所管部署 (事務局)	観光にぎわい部 商工振興課

## 審議内容

### 【久会長】

ただいまより第2回枚方市立地域活性化支援センター利用環境充実事業者選定審査会を開会します。

まず、委員の出席状況及び本日の進め方等について、事務局から説明をお願いします。

### 【事務局】

本日は委員5名全員のご出席をいただいておりますので、本審査会が成立することを報告させていただきます。

続きまして、資料の確認をさせていただきます。資料は事前に郵送させていただいておりますが、お手元にもご用意させていただいております。

次第のほか、資料8 委託契約予定事業者募集に係る質疑・回答、資料9 申請団体一覧、資料10 参加資格について、資料11 選定審査表、この選定審査表につきましては、皆様のお手元に配置させていただいておりますパソコンの中にデータを入れておりますのでご確認いただければと思います。資料12 評価コメントの記入用紙、参考資料としまして、参考資料1がプレゼンテーション進行表、参考資料2が審査・採点の方法、考え方に係る補足説明資料、そのほか、ファイルにまとめておりますのが、各事業者から提案がありました業務提案書一式でございます。

また、前回の審査会において、募集要項及び要求水準書を一部修正しているため、修正後のものを本日皆様のもとにお配りしております。

本日は、事業者の応募状況についてご報告させていただいた上で、参加資格審査、申請団体のプレゼンテーション、また、採点に関する確認等、必要な審議を行っていただく予定としております。説明は以上でございます。

### 【久会長】

ありがとうございます。ただいまの説明について、何かご意見、ご質問はありませんか。

<意見等なし>

### 【久会長】

それでは、本日の案件(1)「事業者の応募状況について」と(2)「参加資格審査について」を一括の議題とさせていただきたいと思います。事務局より説明をお願いします。

### 【事務局】

それでは、(1)(2)の議題を一括でご説明させていただきます。まず、資料8枚方市立地域活性化支援センター利用環境充実事業委託契約予定事業者募集に係る質疑・回答をご覧ください。

5月10日から募集要項及び要求水準書を本市ホームページ等へ公表しましたところ、施設見学会へは6者が参加され、うち3者から参加資格・提案審査に係る質疑がございました。質疑及び回答内容については資料8のとおりでございますが、時間の都合上、質疑に関する個別のご説明は割愛させていただきます。

続きまして資料9申請団体一覧をご覧ください。参加表明書については3者より提出があり、そのうち2者から業務提案書の提出がございました。

ここで、資料10「参加資格について」をご覧ください。参加表明書と同時に提出された参加資格確認書類を基に、事務局にて申請団体の参加資格を確認したところ、申請団体3につきまして、参加資格の3番の公共工事において必要である建設業法第27の23第1項の経営事項審査を受けていないことが判明しました。明らかに参加資格が欠けていることから、当該団体を失格としています。なお、残りの2者につきましては参加資格を満たしていることを確認しました。このことから、3者より参加表明書の提出があったものの、1者失格となったため、業務提案書の提出が2者となっているものです。

本日は、この2者の提案に係る審査を行っていただきたいと考えています。説明は以上でございます。

#### 【久会長】

ただいまの内容につきまして何かご意見、ご質問はありますでしょうか。

<意見等なし>

#### 【久会長】

それでは、次に案件(3)「プレゼンテーションについて」につきまして、プレゼンテーションに入る前に、事務局から採点方法等について説明をお願いします。

#### 【事務局】

それではご説明させていただきます。まず、本日のプレゼンテーションの流れについて参考資料1プレゼンテーション進行表をご覧ください。この後、採点方法についてご説明させていただいた後、18時10分頃から申請団体1によるプレゼンテーションを実施します。申請団体からの説明が最大20分、質疑についても20分程度を想定しております。質疑終了後、申請団体には退出いただき休憩を挟んだ後、18時55分から申請団体2によるプレゼンテーションを実施します。質疑終了後、採点に関する確認事項等について審議いただいた後、本日の審査会は19時45分終了を予定しております。

次に、採点方法についてご説明させていただきます。参考資料2審査・採点の方法、考え方に係る補足説明資料をご覧ください。

まず、1.「審査の流れ」についてですが、申請団体から提出された業務提案書及び実施するプレゼンテーションの内容が審査項目の内容を充足しているかを審査いただきます。プレゼンテーション終了後、資料11選定審査表(仮審査用)及び資料12評価コメント記入用紙へご記入いただき、7月6日午前中までに事務局へ電子メールにてご提出をお願いいたします。

第3回審査会では、選定審査表(仮審査用)の取りまとめ結果をご確認いただき、意見交換を行っていただきます。その後、必要があれば選定審査表及び評価コメントの修正を行っていただき、本審査用としてご提出いただきます。

事務局で作業後、選定審査表の取りまとめ結果をご確認いただき、最優秀提案者及び優秀提案者を選定し、評価コメントを決定していただく流れとなります。

次に2. 「審査方法」につきましては、選定審査表の審査項目1～5については、項目ごとに審査内容を定めております。その内容に応じて配点しています。評価の基準としましては、Aが「提案内容が特に優れている」、Bが「提案内容が一定優れている」、Cが「提案内容が普通である」、Dが「提案内容がやや劣っている」、Eが「提案内容が劣っている」の5段階で評価していただきます。

また、審査項目6、価格点につきましては、最低提案価格を基準として、各団体の提案価格で割り、配点10点を乗じた点数を価格提案評価点とし、あらかじめ事務局にて点数を記入させていただいております。

選定審査表につきましては、Excelの表に記入いただく形になりますが、評価基準（A～E）をプルダウンから選択していただくと自動で点数が入る仕組みとなっております。申請団体1及び申請団体2のシートについて、それぞれ入力をお願いします。採点メモ欄についてはご自由にお使いください。

なお、一番右の仮審査用・提出用のシートについては、申請団体1及び申請団体2のデータが自動で転記されますので、皆さんの方で入力は不要です。

続きまして、資料12 評価コメント記入用紙について、ご説明いたします。

こちらは、申請団体の採点・評価を行っていただくに際し、その申請団体に関して総括として、良かった点、良くなかった点などの評価理由やさらに期待する点などについてご記入いただくものです。申請団体ごとにデータを用意していますので、それぞれご入力いただきますようお願いいたします。

最終的に、委員5名の採点結果を合計した点数とあわせて、各委員にご記入いただいた評価コメントを事務局で取りまとめ、審査会としての評価コメント（案）を作成し、次回の審査会において、皆様にご確認をいただいたうえで、公表してまいりたいと考えております。本日のプレゼンテーションでは、申請団体の提案内容等に関しまして、委員の皆様から業務提案書から読み取れない部分等について、ご質問をいただければと考えています。事務局から説明は以上となります。

#### 【久会長】

それでは、ご質問、ご意見等あればよろしく申し上げます。

<意見等なし>

#### 【久会長】

今までも色々ご議論いただきましたので、準備がよければプレゼンテーションに移りたいと思いますがよろしいでしょうか。

それでは、最初の申請団体の誘導をお願いいたします。

#### 【事務局】

それでは、ただ今よりプレゼンテーションを行います。

プレゼンテーションは、はじめに団体名及びプレゼンテーションされる方のお名前を全員述べてから始めてください。プレゼンテーションの時間は20分です。終了1分前になりましたらベルでお知らせし、所定の時間になり次第、終了とさせていただきます。なお、プレ

ゼンテーションが終了しましたら、引き続き委員の皆さんからの質問にお答えいただきます。準備はよろしいでしょうか。それでは、始めてください。

<プレゼンテーションの実施>

**【事務局】**

それでは時間となりましたので終了してください。  
会長、以降の進行をお願いします。

**【久会長】**

それでは委員の皆様、ご質問やご意見がある方は挙手をお願いします。

**【久会長】**

阪南市のサラダステーションをご担当頂いたという事で、私も実はそこからんでいるんですが、あそこは、曲線の家具が使われてると思うのですが、今回は長方形の家具で、その違いがデザインコンセプト的にあるのかというのをお聞きしたいです。

**【申請団体1】**

もちろん曲線でシンボリックな形も可能かと思うのですが、今回はシンプルに回遊動線をご提案させていただきかかったので、シンプルな長方形のテーブルのまわりを人が動き回ることによって、空間全体を回遊して頂けるような空間にしたいと思いがあったので、曲線ではなくてあえて直線のわかりやすいシンプルなところをご提案に入れさせていただいています。あとは両サイドに商談ブースと、窓側に集中スペースを設けてますので、正直曲線にしてしまうとそこがすごく場所をとってしまうので、今回のこのスペースのサイズ感で1番ベストなサイズというところで、こういった直線の机にさせていただいています。

**【久会長】**

私もそうではないかなと、かなり狭い空間に色々な機能を突っ込んでいるので、あまり無駄なスペースを作ってしまうとしんどいかなと思ったんですが、申請団体1は家具が本職なので、それほどかくかくとしなくても、もう少し角が丸まったとか、そのあたりはできるのではないのでしょうか。

**【申請団体1】**

確かに印象としては角ばっているものをご提案に入れていますが、例えば阪南市さんの隣に神戸市さんの写真を入れさせてもらってるんですが、これもパッと見は直線に見えると思うのですが、結構角を大きく取っているですとか、足も直線の足ではなくて今にも動き出しそうなかわいい赤色の斜めになったような足をつけさせていただいているので、こういったところでも柔らかさは出していけるのかなと考えていますので、スペース効率も考えながら、また違った印象の家具を提案させていただいたらと思います。

**【久会長】**

ラウンジがかなり柔らかい雰囲気を出していただいている割には、ちょっとこっちがカクカクしているので気になったところです。私からもう1点ですが、保育ルームの前にラウンジがありますね。多分子育て世代の方々というのは、働きながら子供の様子も見たいなというようなそういうニーズもあると思うのですが、そのあたりのニーズは、どのような形で実現できそうでしょうか。

**【申請団体1】**

働きながらという点でいくと、今回はコワーキングスペースには働く場所しか設けていませんが、先程の話がまた同じところに戻ってしまいますが、神戸市さんの事例でいくと、写真の奥にキッズスペースを設けておまして、働く場所とキッズスペースは家具で仕切りはつけさせていただいてるんですが、今女性が立っているこんな形で仕事をする子供がいるキッズスペースがちょっと覗けて見える、視界に入るといようなことをやらしていただいているので、今回コワーキングスペースにキッズスペースを設けるようなスペースが今後とれるのであれば、そういった計画もありかなと思いますし、あとは常にオンラインで保育ルームを見れるようなシステムといいますか、テレビカメラでつなぐ、今見守りカメラみたいながあると思うので、そういったものをコワーキングと保育ルームでつなげるような形でシステム化するというのもいいのかなと今思いました。

**【久会長】**

私の質問の趣旨は、ラウンジのところにもテーブルがありますよね。そこで何か小さな作業をしながら、保育ルームがガラス張りで見えたら、そんな使い方も出来るんじゃないかなと思ったんですけど、そういうしかけで使えますでしょうかという具体的な質問です。

**【申請団体1】**

壁を触る工事にはなりますが、ガラスのパーテーションにして見えるようになるというのは、もちろん出来ます。

**【久会長】**

他いかがでしょうか。

**【中原委員】**

委員の中原です。プレゼンありがとうございました。すごくいろいろ工夫されていて素敵だなと思うのですが、こういう事業にありがちなのが、すごく中身を工夫しても、認知がされなくて利用されないというところが、よくあるパターンだと思うんですね。今回の施設だったらそもそも立地上の問題があって、利用率の低下につながっているんじゃないかというそもそもの課題があると思うのですが、その辺との関係で、プロモーションのプレゼンの時間が短かったのもあるので、その壁をどう乗り越えて、この施設に呼び込むイメージでおられるのかと、さっきおっしゃっていただいた豊富な実績との関係で、その実績の中に同じように立地上の困難さがあるところの利用率を上げたみたいなのところがあるのであれば、もし具体的に何かあれば教えていただきたいです。

#### 【申請団体1】

ありがとうございます。そこについては、プロモーションを担当する私の方から回答させていただければと思います。ひらっくさんとしても確かに駅から少し距離が離れているのかなと思いますが、近くに大学機関だったりもあられたりするのかなど思っていて、訴求点としましては、どの特性の方に対してどういったアプローチしていくのかというところは協議させていただきたいと思ってます。現状でいくと大学機関に通う学生とか、動線としてもしかして離れているのかどうかであったりとか、そこはチェックをさせていただいて、近くに大学があるので、学生さんにターゲットをより強めてより訴求していくのか、もしくは周辺の子育て世代の方がもしかしたら、駅まで行って喫茶店で仕事をするよりも、動線上、ひらっくのほうが近くて、こっちに寄る方が近いですし、お子様も預けて仕事できるみたいなことも十分あり得るのかなと思ってます。そういったところは分析を通じて、是非協議をさせていただいて施策を行っていくので、そこは、市場調査をさせていただいた上で、プロモーションの施策みたいところはやっていきたいと思っています。その上で、実績のところのご紹介をさせていただきますと、左上の延岡市コワーキングスペースですが、延岡市は人口が10万人程度になっていて、なかなか年齢層としては少し年がいった方、周辺に大学が無かったりとか、コワーキングスペースを使うような属性の方は少ないような傾向があったんですけども、そこに対して例えば、パソコン教室のイベントだったりを企画して実施したりとか、インスタグラムの投稿の仕方のイベントを企画して、延岡市のコワーキングスペースで実施するのを繰り返して行って、年齢層では、ビジネスマンの層、20代40代というよりは、より若い世代だったりとか、50代60代の方が足を運んでくれる施設になっているというところはありますね。今ちょっとしゃべりすぎて結構長くなってしまいそうなんですけども、ほかにも、延岡市の隣のサザンガク、長野県の松本市のところにありますが、ここも実は駅から結構歩いて20分くらいにある施設になっているんですが、他にも同様にですね、ターゲットをビジネスマン、本当にビジネスマンとしてターゲットにするのかを協議させていただいて、学生さんだったりとか中高生の学生さんだったりとか、他にも定年退職された方だったり向けのイベントだったりとか訴求みたいなことをして順調に来客・来場者数が伸びてきているという実績はあります。回答になっておりますでしょうか。

#### 【中原委員】

ありがとうございます。回答になっています。そうするとSNSの各媒体の活用というところであまりそれぞれの媒体をどう使うかみたいなのが少し薄いなと思ったんですけど、協議でターゲット層を明確にした上でKPIとかも立てていかれるという理解でいいですか。

#### 【申請団体1】

おっしゃるとおりで、現状としてはターゲットが、若手起業に興味がある方と子育て世代というのもあるんですけども、その上でもう少しセグメント分けができて、枚方市さんにはどのセグメントの属性が多いのかみたいなのところをもう少し分析してみたいなと思ったりしますし、私今日東京から来ているんですけど、もう少し皆さんの方から枚方市ってどんな街なのか、どういった方がここを選んで住んでいるのか、もしくはこの街を選んでこれから住んでみたいというのはどういう方なのかというのは、私の中でブラッシュアップさせていただいて、これから住む層だったり、今住んでいる層に対してどういった訴求が必要なのか

というところは定義していけたらと思っております。

**【中原委員】**

WEB 広告も枚方市さんとしては関心事ですが、今はまだ現状薄いのもそれを踏まえて具体的にというところでしょうか。分かりました。ありがとうございます。

**【加嶋副会長】**

ご提案どうもありがとうございました。空間構成のほうについてお尋ねしたいんですけど、ラウンジの部分とリラックススペースと呼んでおられるところ、これはどちらも休憩エリアだと思うんですが、いずれも一人用もあり、複数で腰掛けるところもあると思うんですが、両方何か使い分けるアイデアとか、そういう方向付けみたいなご提案がもしあれば、ラウンジの例えば使い方とかイベントのご提案とかあればそれも含めて教えていただけますか。

**【申請団体1】**

ラウンジの方はやはりラウンジという名前の通り、ゆっくりと時間を過ごしていただく、そして食事も可の場所となると思うので、ここはもちろん一人でもいいのですが、どっちかというところと交流もしてほしい場所になります。なので情報発信スペースも一緒に作ったということがあるので、例えば情報発信で持ってきたチラシを持ってここのラウンジに座って、ドリンク片手に誰かと「これ参加する？」みたいな形で語らうですとか、コワーキングスペースとかシェアオフィスで生まれるコミュニティもあると思うんですけど、ここのラウンジで不特定多数の人が出入りすることで、ここで出会う出会いというものもあると思うので、こっちはどっちかというところとカジュアルにみんなワイワイ喋りながら、いろんな人が出会う場所として作っていきたいという思いもあります。例えばイベントにもし使うとなれば、さっきコワーキングスペースのビッグテーブルを使ってイベントをしてはというお話もさせていただきましたが、もちろんこのオープンのスペースのラウンジスペースで検討していただくというのももちろん可能かなとは思っています。その分色々スクリーンをどうするのかとか、そういった設えの検討をしなければいけないかなと思います。打って変わってこっちのリラックススペースは、20 ページのリラックススペースに関しては、私の思いとしては一人でゆっくり気持ちのオンオフの切り替えを、それこそコワーキングで仕事をしている人、シェアオフィスで仕事をしている人がちょっと抜け出して、仕事と離れて一息つきたい場所にしたいなと思っています。なので、ちょっとした動線の違いですが、ラウンジよりリラックススペースの方はコワーキングスペースやシェアオフィスに近いというのがありますので、ちょっとパソコンから離れてここにきて、あとは一人でゆっくり、パース上はソファ一席なので左側で人としゃべっているような形にしていますけど、どちらかというところと一人一人が個々にオンオフを切り替えられるような場所にしたいなと考えていますので、家具の設えとしても1人でしか座れないゆったりとした椅子、ソファの方も実は普通ソファを置いたら机を挟んで反対側にもう1個椅子を置いたりすることが多いと思うのですが、あえて反対側に椅子を置かずに、片側だけの席にしていますので、ここも一人でゆっくりと一息ついて欲しいなという思いがあります。こちらは交流というよりは1人の時間を楽しむというところなので、その違いが大きいかなと思ってます。

**【若井委員】**

ありがとうございました。いいお話を沢山聞かせていただきました。おそらくずいぶん悩まれたのは、今回集中する空間とリラックスする空間との住み分けと共生であると思います。その時に書かれている、遮音性とか、音の減音とか、香りとかです。においというのは少しだけ書かれていました。多分気分を落ち着かせるとか、脳の作用を和らげる大きな要素だと、私自身考えているのですが、その辺はどのようにお考えなのかということ、教えていただきたいと思います。

**【申請団体1】**

お手元にある提案書の最後のページになりますが、五感を刺激するものってすごく人間にとって重要だと私たちも考えておりますので、まず今おっしゃっていただいた香りの部分でいくと、例えばリラックススペースは一人でゆっくりと言っていたので、リラックス出来るラベンダーの香りですとか、ただ香りはかなり好き嫌いがあるので、そこはどこまでやるかっていうのは今後の協議かと思うのですが、うっすら何かいい香りがする、そして印象に残るようなものというところを持っていきたいので、香りをするとするならリラックススペースだけかなと私は考えてます。なぜならラウンジは食べ物を食べる場所なので、あまりにおいはしない方がいいと思うので、ではそこに何をもちと五感に刺激するものがあるかという、音も重要なことだと思っていて、弊社もオフィスの中で常に鳥のさえずりですとか、夕方になると虫の鳴き声が聞こえるような、それで時間の流れを感じ取れる、時計を見なくてもああ夕方になったんだなと感じ取れるような効果を狙っていたりしますので、うっすら自然環境を感じるような音を流すとか、そういったところも取り入れていきたいなと思ってますし、あとはそこに五感という意味でいくと、照明とグリーンを書かせてもらってますが、照明も白っぽい照明、コワーキングは白っぽくてもいいのですが、ラウンジは少しオレンジがかった温かみのある照明に変えた方が、もしかしたらいいのかも知れないですし、明るすぎず暗すぎずというところの調整も環境としては大事かなと思ってます。グリーンも提案書の中に入れさせてはもらっているんですけど視線が自然に生える場所、高い所でもいいし低い所でもいいし、はたまた机の上にもご提案させてもらってますが、至るところでグリーンが入ってくることでまたよりリラックス効果ですとか、働くって結構ストレスが溜まることなので、そこで心身の健康につなげていけるような空間づくりも必要かなと思ってます。

**【若井委員】**

今おっしゃっていたグリーンは、天然の自然のグリーンを想定しているということですか。

**【申請団体1】**

悩みどころなんですね。

**【若井委員】**

やっぱり生きているという事が五感に相当影響しますので、造花ではちょっと思うんですが、その辺のお考えを聞かせていただければと思います。

**【申請団体1】**

誰が面倒見るの？とかあると思うのですが、いまリラックススペースをご提案させていただいている奥の窓側に結構たくさん植栽を置いてくださっているのですが、それをそのまま活用しながら増やさなければいけないところは増やすというのがありますし、細かい話ですが、情報コーナーのシェルフの上の方は手が届かないところで視線も遠くなるので、ああいったところは造花でも効果はあるかなと思ってます。メンテナンスしづらい高さになってくるので、ああいったところは造花、でも手の届くところには生木という風に使い分けて空間構成していけたらなと思っています。

**【若井委員】**

もう一点だけ教えてください。家具の関係で、今の時代ですからリサイクル出来るところ、リニューアル出来るところ、まったく新品に替えるというよりも、長持ちして使いやすいというのが大方の流れだと思うのですが、申請団体1さんはそこは得意でしょうけども、例えばどんな点で家具を工夫されているのか。

**【申請団体1】**

家具の話でいくと、資源の再利用というのがありますが、あえて家具を細かくパーツ分け出来るような設計にしておいて、あとプラスチック、スチール、その他木材というところをちゃんと完璧に分けられるようにすることによって、100%つなげるリサイクルにしていくというのがあります。あとは19ページですが、細かく分けるという話が出ましたが、弊社の場合お客様から、不要になった家具をいったん引き取って、素材ごとに分別するんです。分別した素材をまた再利用して新品の家具に利用する取り組みをしています。なので各商品の個体そのものに素材の名前が刻印されてまして、例えば弊社以外の事業者が引き取った場合にも、この材質はどのような材質なのかと一目でわかるようになっています。それがひいては省エネにつながると思います。

**【若井委員】**

ありがとうございます。設計思想が随分変わりつつあります。昔は作ったらそれで終わりであったが、後のリサイクルも考えて設計するというように変わりつつありますね。

**【申請団体1】**

それもひいては枚方市さんのSDGSを推進されてると思うのですが、その項目につながると思います。

**【若井委員】**

家具関係のことをよく存じ上げないもので、ありがとうございました。

**【久会長】**

他いかがでしょうか。

### 【海老原委員】

委員の海老原です。本日はありがとうございました。私の感想としては、会長がおっしゃられたこととは全く逆の印象で、自分が実際に働きながら子育てした経験からいうと、子どもを見ながら仕事するというのは、理想ではあるけれども現実的にはそんなに仕事出来るわけないと思っていますので、仕事するときにはある程度子どもは見えない方がいいし、子どもを見るときには子どもに接したいというところがあるので、逆に入ってすぐに、パーティーションで区切られて、一時預かりスペース等隔離されているというのは、逆に私はいいなとすごく思って、仕事に集中できるとしています。子どもを気にせずに色々なコミュニケーションがとれるというのも、一つすごくいいなと思った点でございます。その中で二つほどあるのですが、御社の最初の提案で、枚方市独自の環境やそういった分析はあまりなかったように思って、枚方の独自性とかどういう人が住んでいるのかとかそういったところを分析されてそれに合わせてのご提案があればより良かったのではないかなと思っています。今後考えられるという事でしたので。最後セキュリティの部分で、例えばシェアオフィスの部分は、入ったところの扉はオープンだと思うんですが、シェアオフィス一つ一つ4社のお部屋で、扉が無いように思ったんですが、それはいわゆる併設のロッカーだとか、そちらの方である程度セキュリティが保たれるという状態でしょうか。それとコワーキングスペースのセキュリティとしては、監視カメラとなっておりますけど、どのような感じを考えてられますか。

### 【申請団体1】

まずシェアオフィスの方ですが、今おっしゃっていただいたように、入ってしまうと自由な場所になっていて、区画が分かれているだけのスペースになっています。もちろんブースを扉付きにして、鍵付きにしたりも可能なんですけど、今回の要望としましては、ブースタイプでいただいていたので、今オープンな半個室タイプにしています。ではセキュリティはどうするのという話でいくと、資料14ページの右下に、貴重品の管理に活用できる8人用のモバイルロッカー（鍵付き）というのをご提案させていただいていますので、入口入ってすぐの壁面に、こういったロッカーを置かせていただいて、それぞれ自分の場所は自分で管理して手荷物はそこにに入れてもらう等して、セキュリティは保っていきたいと考えています。コワーキングスペースの方のセキュリティに関しては、18ページにまとめておりますけど、将来受付がなくなったときに、ここは誰も見守る人がいなくなってしまうので、監視カメラを付けてはどうかなという提案をさせていただいているので、入口の監視とあとは全体の監視を常に、例えば事務所からリアルタイムで見ることが出来るようなシステムにすれば、監視カメラがあるというだけで、安全性は保たれると思うので、そういったところももちろん必要かなと思いますし、真ん中の2番なんですけど、最初は受付がいらっしゃるので自由に出来るようにしているかと思うのですが、受付がいなくなった時のドアの開け閉めはどうするのかというところでいくと、この後付けのセキュリティのスマートロックと呼ばれるものをつけさせてもらうことによって、入れる人だけが入れるとい、予約した人だけが入れるといようなシステムにさせていただければ、ここに自由に誰か知らない人が、使わない人が入るとい事はないようにしていきたいなと思っていますので、最初と今後が変わっていくのであれば、後付けの物で対応していけたらなと考えてます。

**【久会長】**

質疑応答は時間を気にせずに、先生方が聞きたいことありましたら確認しておいた方がいかなとは思っています。

**【中原委員】**

お金の話なのですが、無線 LAN の工事のところの金額、相場観にもよるのかも知れないですが、個人的には少し高いなと思ったので、なぜこの金額が必要なのかというところを端的に教えていただけたらありがたいです。

**【申請団体 1】**

今回設定させていただいている機器は、我々精査させていただいた機器と思っておられる機器がどういうものかというところでも差異が発生してしまうんですけども、理由としては 40 名程度の方がご利用いただいても問題なく利用出来るというのを要求水準とされておられましたので、弊社として責任をもって通信が安全にちゃんと出来るものをとると、一般的に電気屋で置いておられる製品、数千円から数万円レベルで売られている製品と、我々があくまでビジネスモデルとして選定している製品に関しては、結構な差異がありまして、数千、数万円で販売されているものも、200 台まで接続出来ますとうたってる製品もあるのですが、実際それだけ使えるかという、今とかでも一般的に街の中で、Wi-Fi をスマートフォンでひろってみようと思ったら、何百個も出てくる時代になってます。それと同じように、いくらでも見つけようと思うと見つかるし、繋げようと思ったら繋がるんです。ただ繋ぎすぎると当然のごとくなんですが、通信が全くいきませんと、要は重たい、繋がらないというところですが、そういったものをしっかりと回避するために、それなりの機器、しっかりとしたビジネスモデルの物を選んでおられるからということにもなっております。

**【中原委員】**

わかりました。ありがとうございます。

**【久会長】**

一定の速度と安定性を求めようと思うとこれくらいの機器を入れておかないといけないということですね。

**【申請団体 1】**

台数も結構な数と思われるかも知れませんが、例にすると今天井にあるようなアクセスポイントが各部屋に、こちらも今ついているところも、隣の控室にあったところも、一部屋 1 台ずつついているくらいで、我々選ばせていただいている機種も同等くらいのレベルのものになりますので、今簡易でしたけど、あの図であるように、各部屋に対して各 1 個ずつというのは妥当な数なのかなと我々は思っていますので、それくらいの費用はかかってしまいます。

**【中原委員】**

よくわかりました。ありがとうございます。

**【加嶋副会長】**

コワーキングスペースですが、現在コンシェルジュカウンターを設けておられると思います。ここは貸し借りとか管理の業務だとか主にあると思いますが、コワーキングスペースの中にありますが、シェアオフィスの利用者に対する対応はどこでされるという想定でしょうか。シェアオフィスは例えば一か月借りているとかという意味ではコワーキングの利用者ほど質問とかないと思うのですが、例えば最初の貸し借りですとか、施設利用上質問があったりとか、何かそういったときの対応とかはどこでされるのか、想定がありましたら教えてくださいませんか。

**【申請団体1】**

今の計画ですと、隣のシェアオフィスからコワーキングスペースに来ていただいて、そこにいるコンシェルジュに質問して頂く、物を貸していただくという風に考えております。

**【加嶋副会長】**

廊下にデスクがありますよ、みたいなサインがあるとか、そういった形でしょうか。

**【申請団体1】**

最初にシェアオフィスをお貸しするときのルールとして、そういったところを説明させていただくような感じがいいかなと思っています。

**【加嶋副会長】**

ありがとうございました。あと一点ですけど、コワーキングスペースの廊下側の壁面は、将来的にはガラスのパーテーションにするという改修のご提案があるのですが、これは初期段階からの提案に盛り込むのは、予算的に厳しいということですか。

**【申請団体1】**

そうなんです。本当はしたかったんですが、すいません。

**【加嶋副会長】**

わかりました。ありがとうございました。

**【久会長】**

他いかがでしょうか。

先ほど、保育ルームとラウンジの関係、ちょっと誤解が無いように申し上げておきますと、子供と分けて仕事したい人は分けたらいいし、一緒にとにかく見ながら仕事したい人はそうしたらいいし、多様性を担保するためにはいろんな働き方を想定されておいた方がいいんじゃないでしょうかと思います。最後簡単な質問なんですけど、先ほど照明の話がありましたけど、当然 LED になってくるのかと思うんですけど、色温度とかいろんな調整できますよね。

**【申請団体1】**

そうですね。今だとリモコン一つで変えれます。

**【久会長】**

例えばイベントをする時、働く時、そのあたりは雰囲気に応じて色温度が変えられる。

**【申請団体1】**

スタッフさんが変えるのか、金額もあるんですが、システムで時間設定しておいて自動で移り変わっていくのもいいのかなと思います。

**【久会長】**

なるほど。ありがとうございます。

それでは色々と聞かせていただいて、少し時間伸びましたけど申請団体1のプレゼンテーション、これで終了させていただきます。

**【申請団体1】**

ありがとうございました。

**【久会長】**

それでは色々と聞かせていただいて、少し時間は伸びましたけれども、これをもちましてプレゼンテーションを終了させていただきます。ありがとうございました。

<申請団体の退室確認後>

**【久会長】**

それでは、時間も押していますが、きりのいいところで7時10分から再開したいと思います。小休憩、あるいは採点の方をよろしく願いいたします。

**【久会長】**

それでは審査会を再開いたします。次の申請団体の誘導をお願いします。

**【事務局】**

それでは、ただ今よりプレゼンテーションを行います。

プレゼンテーションは、はじめに団体名及びプレゼンテーションされる方のお名前を全員述べてから始めてください。プレゼンテーションの時間は20分です。終了1分前になりましたらベルでお知らせし、所定の時間になり次第、終了とさせていただきます。なお、プレゼンテーションが終了しましたら、引き続き委員の皆さんからの質問にお答えいただきます。準備はよろしいでしょうか。それでは、まずご紹介からお願いします。

<プレゼンテーションの実施>

**【事務局】**

それでは時間となりましたので終了してください。

会長、以降の進行をお願いします。

#### 【久会長】

それでは委員の皆様、ご質問やご意見がある方は挙手をお願いします。

私の方から2点教えていただきたいですけれども、1つはキッチンカウンターで交流というお話があったんですが、車いすの利用者にとって高さが高くないでしょうかということが気になってるんですが、このあたりバリアフリー対応はどうなんだろうかとというのが1点と、カーボンストックファニチャーは非常にユニークでいいと思うのですが、その大阪産とおっしゃるのは、大阪の具体的にはどこか想定されてるのかということと、重量が重くなって動かしづらくなりませんか、このあたりを教えていただきたいです。

#### 【申請団体2】

バリアフリーの考え方に関しましては、細かな造形と図面はお示し出来ていませんが、カウンターの高さを変えたり、蹴込の高さだったりとか、ユニバーサルに配慮した設計をしていきたいなと思っています。床に段差をなるべくつけないようにしてますので、アクセスに関しては問題ないかなと考えております。カーボンストックファニチャーに関しましては、大阪森林組合さんでまとめられてますブランド大阪材というのがあるかと思しますので、こちらのほうに登録されてる製材所さんから購入させていただきたいなと思っています。特段どこの山の木というのではなくて、一般流通されているブランドの大阪材を使いたいと思っています。カーボンストックファニチャー自体とても重いです。ご指摘の通り、移動は難しくなってしまうと思いますが、小さい木材に分割することによってキャスターを仕込むこともできるかと思しますので、可変性のほうを重視されるということであれば、設計を詰めながら考えていきたいなと思っています。

#### 【久会長】

大阪市立中央図書館の一角のリノベーションの時もかなり大阪材を使ったんですけど、なかなか家具が重くて、大変な状況になっているので、そこは経験したものですから、このあたりCO2にはいいんですけど、使い勝手がいががななものかなという気がしました。

#### 【加嶋副会長】

関連して、カーボンストックファニチャーですけど、既製ではないと思うのですが、デザインがある程度決まったものなのか、あるいは現場に応じて材料を少なくして、ちょっとでも少しでも軽くなるよう対応が可能なのか、どういったものでしょうか。

#### 【申請団体2】

造りが角材を組み合わせる形になっているので、ある程度のモジュールといいますか、設計のルールは出てきてしまいましたが、長さとか組み方は自由にご相談させていただきながら作っていきます。最初、ベンチとかローテーブルとか塊から始まったんですが、デスクのような形だったりとか、カウンターで宙を飛ぶような形だったりとか、今お客様とお話をしながら色んな形を作っているところがございます。ある程度の形は対応できるようになっていま

す。

**【加嶋副会長】**

続けてもう一点、全体的にカーペットのデザインですとか、家具の什器のレイアウトですとか非常に細かいプレゼンテーションでよく把握できたんですけど、壁面のデザインですとか、サイン計画、照明計画、そのあたりに対するアイデアについてはいかがでしょうか。

**【申請団体2】**

少し什器とカーペットに力を注いだところがございます、壁に関しては現状のところあまり大きな改修は考えていない計画となっています。一部壁を取りはらったりするところに対して補修は行います。サイン計画は、適宜施設の利用用途を相談させていただきながら入れていければと思っています。照明に関しては既存の天井照明をそのままお使いになるということでございましたので、基本的にベースライトはそのまま使わせていただくという想定で必要に応じて什器の手元灯をつけていきたいと考えています。

**【加嶋副会長】**

ありがとうございます。あともう一点、キッズ広場ですけどもこれは最初から提案に入っているんですか。それともオプションですか。

**【申請団体2】**

提案の中で予算的に入れさせていただいております。

**【加嶋副会長】**

そうすると一時保育サービスが始動する前といいますか、それまでの利用の仕方をどう想定されていますか。

**【申請団体2】**

現状、オープンイノベーションキッチンスペースの一角を低めの家具で囲うということで想定しています。その中をよくあるようなキッズスペースとして使っていただくということ想定しています。人がべた付きになるのはなかなか難しいかと思っておりますので、なるべく受付からの目の届きやすそうな場所に配置をさせていただいたということでございます。

**【加嶋副会長】**

ありがとうございます。

**【久会長】**

他いかがでしょうか。

**【若井委員】**

ご提案の内容が機能面を重視したと理解したんですけど、その中で大阪産の木材というところが少し和らげている要素かと思うんですけど、この空間の快適性ということ考えたとき

に、もう少し緑の要素とか、そういうものは考えだけでも、今回はこういうもので補完するようにしたとかそういう視点があればご説明していただけたらと思います。

**【申請団体2】**

空間の快適性、緑の植栽効果ですね。設えとして植栽、非常に有効かと思しますので、まだ正直詰め切れていないところで細かな什器備品等あるかと思いますが、その中で配置をしていければなとは思っておりました。なかなか生木で入れてしまうと手間がかかってしまいますので、フェイク等を使いながら考えていきたいなと思っていますが、植栽、緑自体との相性が良いので、木材性の家具、カーボンストックファニチャー以外の家具を選定をしたりしていきながら空間にマッチしていくようなデザインにしていければなと思います。

**【若井委員】**

なるべく大阪産の木材、自然の天然資材を使っていただければ、人間の感覚を和らげるのかなと私自身は思っているのでお聞きした次第です。ありがとうございました。

**【申請団体2】**

ありがとうございます。おっしゃる通り、木を使う空間は今まで「気持ちがいい」だったりしたのですが、「効率が上がる」とか、「人と会話が弾む」とか、そういったエビデンスも林野庁からも出てきているようですので、そういった効果もあるかと思えます。

**【若井委員】**

ありがとうございます。

**【久会長】**

他、いかがでしょうか。

**【海老原委員】**

委員の海老原です。今日はありがとうございました。私からはまず2点ございまして、1点はプロモーション関係のところで、配信のエリアを限定すると共に、発信の相手を地域を限定して発信なさるといったことだったんですけど、その理由をもう一度お聞かせいただきたいです。

**【申請団体2】**

両方共、ターゲットを明確にしてそこに注力することによって、それから得られる効果を最大限効果的にするといった目的があります。例えばエリアの限定については、九州だとか北海道、首都圏である東京などにするよりも、やはり市の方針にもありましたけれど、また戻ってきて住みやすさを感じるという方向性に合うように、また体験という形の障壁が低いというところでエリアを近場に絞っている形になっております。そして企業数等についてはこの短い期間でやる中で枚方市内で私たちのデータベースに中にある2,100社の企業へのアプローチというのを中心になると思っています。そこからですね、不必要といいますかあまり広げることなくまずは枚方市内の企業さんにひらっくの場所を知っていただいて、そのの

利活用の促進から次年度以降の波及効果というふうに考えています。

**【海老原委員】**

まずは近場から配信して、まず近場の方にひらっくの施設の良さを知っていただいてそれからという考え方ですか。

**【申請団体2】**

そうですね。

**【海老原委員】**

分かりました。それともう一つは、空間の壁を取っ払ったりとか、すごくオープンなスペースになって景色もだいぶ変わるのではないかなと思うんですが、すごく楽しいデザインかなと思うんですけど、その反面、例えばキッズ広場を作られたりというところがあるので、音の乖離というか結構難しいのではないかなと思うんですけど、そちらの方はたとえばワーキングスペースである程度仕切られたスペースをたくさん作られておられると思うんですけど、そういうことで和らげておられるということでもよろしいでしょうか。子供の声がワッと聞こえすぎないようにどのように工夫されるのかなと分からなかったのです。

**【申請団体2】**

キッズ広場に関しましては割と大きなプレイグラウンドではないので、それをキャーキャーというかそこまではないかなと想定はしつつになりますけれども、ある程度距離を離すことによって、よく今スタバとかでもお仕事されると思うんですけど、私も新幹線で仕事できる席で来たんですけど、少し距離が離れることによって環境音になって、あまり遮断するというよりは適切に距離を離して気にならなくさせるという設計になってございます。あとはすぐ隣の人の声だったりとかは支障をきたしますし気になるかと思いますが、それをなるべく家具の方で座って、正面を向いて、対面にならないとか、ハイバックのソファで少し遮音性に配慮したファブリックの物を選ぶとか、そういった形で対応していければなと考えています。

**【海老原委員】**

ありがとうございました。

**【久会長】**

他、いかがでしょうか。

**【中原委員】**

委員の中原です。これだけ工夫をしてもらえてる施設にそもそも来てもらえるかというところで、御社の1ページにも書かれているみたいにアクセス難とかで利用率低迷という課題は明確に意識していただいているのかなと思うんですが、そこをどう乗り越えて来てもらう、認知を広げようとしているのかなというところを改めてお聞かせいただきたいのと、それとの関係で24ページでインスター択に見えるというか、インスタメインでされた、最

も有効と考えられた理由を伺いたいと思います。というのが、ペルソナで設定していただいているみたいなママさんで起業される方などはインスタが一番親和性というか使い慣れているのかなと思うんですが、例えば10代から20代の学生、若手起業家の話でいくと、どちらかというビジネスの場面ではTwitterとかの方が今は強く出てきているのかなと思うので、その辺、なにも触れられていないのは何か検討された結果なのかどうかそのあたりをお聞かせいただけますでしょうか。

#### 【申請団体2】

まず認知度向上ですけど、23ページにございます在宅ワーク入門セミナーというもので、色々なところでさせていただいているんですけど、ここをトリガーにしてひらっくに来てもらうという仕掛けにしております。参加者は施設に来ていただいて参加してもらうことによって、どの自治体でも、ある一定数の在宅ワークに関する興味関心、これから始めてみたいということは結果として出てますので、これだけの大都市枚方市でも当然割合をかけるという一定数いるというところで、そちらで認知度を向上させていくという風に考えております。24ページのインスタグラムの検討ですけれども、要件にございます子育て世代、20代から40代というターゲットが第一でありますので、ここから精度の高いターゲティングができるかと。もう一つは、枚方市のFacebookを今日見たところ4,900くらいのフォロワーがあるんですが、そのイメージを刷新してインスタグラムを強く推していくことによって、見ると楽しいな、そして23ページにもございますがものすごい数のLINEの登録者がいる、アクティブに動いているSNSがございますので、そこなどと組み合わせながら、認知度をまずこちらの周辺の方々から上げていくという風に考えております。なのでTwitterを対象とする10代とか20代の方が、ああいうコワーキングスペースを使う対象として少し外れるというふうに考えており、インスタグラムの選択という形になっております。以上です。

少し補足ですが、26ページに書いてあるんですけど、ひらっくの位置が5つの大学7キャンパスのだいたい中央あたりなんです。もちろんそのあたりを全く無視しているわけではなく、ちょっと順を追ってやっていかなきゃいけないというふうに思っております。まずはメインターゲットとなりえそうなところからいくんですけども、もちろん異業種交流として何かしら大学との兼ね合いをもって、やっぱり街が若返るということはすごく大事だと思いますので、そういった人たちを入れ込むことを次の段階でも進めていくというふうには考えています。

#### 【中原委員】

分かりました。ありがとうございました。

#### 【久会長】

他、ありますでしょうか。

#### 【若井委員】

1ページにポテンシャルをイメージされていて、コロナ渦で周囲に開けた良好な眺望という施設の中の話はよく理解できたのですが、外の眺望とか、どのようにこの提案書の中に工夫されているのかなというのを1点お聞きしたいと思います。

**【申請団体2】**

今回の施設リニューアルの位置は比較的高い位置で、そこをリニューアルすることでどういう効果が得られるかということがありましたので、その施設のポテンシャルとしては、あそこの高い位置から眺望を見下ろすということは、来た方に対しても周囲の環境自体が実は建物のポテンシャル、また来た人が気持ちよく仕事ができる場所という風に繋がってくるかなというふうに捉えました。ですので、あの高さ、これが1階2階ですとちょっと違うと思うんですけど、今回の改装する場所がやっぱりそういったところのポテンシャルだと思ったので、今周囲に開けた良好な眺望という文字を入れさせていただいたというのが現状です。

**【若井委員】**

中から外へということですよ。眺望ということで、スペースの中でどのあたりを工夫されているのか。

**【申請団体2】**

コワーキングスペースは結構開けた壁を外してですね、オープンなスペースにしたと思うんですけど、要はそういったところから外側が見えたり、ちょっと働いている時に見たら気持ちいい空間が見えるというか、オープンイノベーションの方もそうだと思うんですけど、そういったところを閉じるのではなく開いて見れるということでこの施設を作ったら結構気持ちのいいフロアになるんじゃないかなというところでそこを工夫した感じでございます。

**【若井委員】**

ありがとうございます。

**【申請団体2】**

あまりご説明ができなかったんですけど、右側のハイバックソファなんですけど、それを外に向けて作ったりですとか、手前側にソファを置いて外を見たりして仕事ができるような形でレイアウトをしていきたいなと思っています。私も実はここで仕事をさせていただいたんですけど、非常に外を見るだけで気持ちが和らいだので、そういった体験をしていただきたいなと思っています。

**【若井委員】**

広々とした空間を見るというのは、一つのリラックスしていける要因かなという私の思いでお聞きしました。どうもありがとうございました。

**【加嶋副会長】**

他のフロアと比べてもそうですし、コワーキングスペースの壁面を取って斬新なりノベーションと言いますか、コンバージョンだと思うんですが、それ以上に今おっしゃった周囲の景色を取り込める場所というのが大きく2か所あると思うんですね。休憩エリアとしてですけども、それを現在はラウンジと奥の休憩スペースで似たような使い方ができるといこと

ろ、ご提案では割と使い方をはっきり分けてられて、北側の横長の窓というのは、コワーキングスペースにほとんど取り込んでおられますので、そういったエリアの使いこなしと申しますか、使い方の違いを結構細々のご提案されているなどお見受けした次第です。オープンイノベーションゾーンというのは非常におもしろいご提案だと思うんですが、この階段状の席とかキッチンカウンターというものをやっぱり十分活用し続けてこそこの場が生きてくると思うんですね。そういう持続的に活用されるためのご提案というか、ソフト的な内容になるかもしれませんが、そのあたりいかがでしょうか。

#### 【申請団体2】

おっしゃる通り、こういった形の施設は活用することが一番重要だと思うんですが、運営と切っても切り離せない関係にあるかなと思います。想像していたのは、オープンイノベーションのカウンターのところで、例えばここに入られた若い起業家さんたちが、これからやっていきたいものの試供・試食をすとか、6階に入居されている企業さんたちにソリューションを提供してみるとか、プレゼンしてみるとかそういった形でお互いが繋がっていくようなコミュニケーションができればいいなと思ひまして、そういったことに使うようなカウンターだったりとか、それを視聴できるような客席の意味も含めた段々となっております、そういったような使い方を想定しています。

コミュニケーションというか繋がりを作ることでこれが活用できる、いろんな人たちが交わることがすごく重要だと思っております。ですのでここでイベントをやるですとか、周囲から人を呼ぶ、もちろんコワーキングでちょっと離れた位置で、それにちょっと気を振られた人が実際にイベントにも見に来るとかということによってどんどん人の交わりとか増えていくということが、このオープンイノベーションゾーンを作った大きな理由でもございますので、活用の方というのはしっかりとやっていかなければならないかなと思っております。

#### 【加嶋副会長】

5階のフロアだけじゃなく他の階からの参加者も大いに募るっていう大変いいアイデアだと思いますので、PRの中にも含めていただきたいですし、それからサイン計画などにも館内の人たちにここは5階だけの施設利用者のためだけの施設じゃないですよというサイン計画をはじめ、そういったことを通して分かるような工夫を最終的にはご提案していただけたらなと思っております。それと、あと2点だけなんですけど、Wi-Fiのところなんですけど、18ページに書かれている各フロアごとに1本の専用の光回線等を割り当てるという記述があったんですけども、提案要求水準では用意する光回線、1本の光回線割り当てる専有型ということで、いわゆる共有型に対してそうじゃなくて専有型をひらっくに1本独自の専有型を導入してということだと思うんですが、そうすると予算の内訳のところでも電気設備工事に含めておられると思うんですが、専有型導入となると結構費用面でももっと上がるんじゃないかなという懸念もあるんですが、そのあたりを少しかみ砕いて説明いただけるとありがたいです。

#### 【申請団体2】

まず資料上は、誤記でありまして、専有型の回線を引ければと思っております。そういった意味で言うと一番上にNTT西日本と書いてあるんですけど、サービス提供されていないの

でニューロさんだったりとか、サービス提供されている会社さんと相談しながら詰めていきたいなと思っています。ただ、ちょっとまだ設計が詰め切っているかと言ったらそこまで詰め切れておりませんで、そういった要求仕様としては認識しているのでそういった形の整備の方をお願いしていきたいなという回答にさせていただければと思います。

**【加嶋副会長】**

予算面が変わってくるという可能性があるとする、他の造作あたりですとかそういったところの調整は実際的にはある程度は可能と考えてよろしいでしょうか。

**【申請団体2】**

そうですね、逆に言うとまだ細目が詰め切れていない所も多々ありますので、設計積算を進めながら相談させていただけたらありがたいなと思っております。

**【加嶋副会長】**

分かりました。ありがとうございます。

ちょっと長くなってすみません。あと1点だけ、施工スケジュールのところを見せていただきたいのですが、この一番下の検査引き渡しというのが3月上旬から中旬近くになっていると思うんですが、これで問題ないという計画だと思うんですが、施設利用者、枚方市さん側の準備だったりとかを考えて、もう少し若干早めるという可能性はどの程度考えられるのでしょうか。

**【申請団体2】**

ご採択いただけましたらもう少し細かな工程をお作りいたしますので、その中でゴールを前倒しすること自体十分可能ではないかと思えます。もう少し竣工が終わった後に運営準備期間長くとれないかというご質問でしょうか。

**【加嶋副会長】**

そうですね。割と1か月単位でとかの調整も可能と考えてもよろしいでしょうか。

**【申請団体2】**

今設計期間も3か月取っておりますし、工事期間自体もおそらくここまでかからないでいけるかなと思えますので可能であると思えます。

**【加嶋副会長】**

どうもありがとうございました。

**【久会長】**

他いかがでしょうか。私のほうから非常に根幹の話になると思えますけど、ここを利用される起業家の方々の業種業態というのはどのようにご検討いただいているのでしょうか。

**【申請団体2】**

ここを利用される方々は比較的、もちろん製造業もそうなのですが、例えば女性の方々がここをどんどん利用するというのであれば、福祉であったりとか、飲食であったりとか色々なそういうバリエーション、街を豊かにしていくことに対して何かサービスを提供していきたいみたいなことも含めて、色々なことにチャレンジできる場所になっていくってということがすごく重要なのかなと認識をしています。1つの業態とか1つの業種ではなくて色々な人が活用するにはどうしたらいいかということをおそらくこれを作る計画の時に、もう少し深く話を考えながらやっていかなければならないかなと思っておりますけれども、そこをどこにターゲットを絞っていくかということに関しては、まだ今計画上では整理はできていないです。できるだけ広く色々な方が活用できるような施設にできないかなというふうに捉えてはいます。

**【久会長】**

福祉のサービスとか飲食のサービスっていうのはもう少し具体的にはどういったことを想定されていますでしょうか。

**【申請団体2】**

例えば介護の仕方であったりとか、飲食はお店を出したいとか、最近はオーガニックのことに関して何か化粧品を作りたいというお話があったとします。そういった方々に対して何かそういったものを提供できるラボみたいなものをちょっと作りながら、そこで試作であったりとか作れるみたいなことをできたりしたらいいのかなと思ってまして、まだおそらくご要求されていることに対して細かく考えられていないと思いますけど、やはり内容が決まり次第そのへんは内容を深掘りさせていただきながら、こういうことができないかということも含めてご提案ができるようにしていければというふうに考えております。

**【久会長】**

ありがとうございます。他、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。それではこれでプレゼンテーションを終了させていただきます。どうもありがとうございました。

<申請団体の退室確認後>

**【久会長】**

それでは、次に案件（4）「採点について」を議題とします。事務局から説明をお願いします。

**【事務局】**

採点の考え方につきましては、先ほどご説明させていただきましたとおり、審査項目ごとに配点内で採点いただきます。採点にあたり、時間が必要ということがございましたら、大変お荷物になるかとは存じますが、関係資料をお持ち帰りいただき、評価いただいた選定審査表、評価コメントをメールにてご提出いただきたいと思いますと考えております。

本日も記入いただきましたデータにつきましては、本日中にそれぞれの委員宛にメールでお送りをさせていただきます。提出期限につきましては、大変短く申し訳ございませんが、7

月6日(木)正午までに事務局にメールでお送りいただきますようお願いいたします。

また、資料一式をお持ち帰りいただく場合につきましては、次回の第3回審査会においてお持ちいただきますようお願いいたします。

説明は以上でございます。

**【久会長】**

ただいまの説明に対して、委員の皆さんからご質問、ご意見等はありませんか。

<意見等なし>

**【久会長】**

続きまして、案件(5)「その他」について、委員の皆さんからその他案件ございませんでしょうか。次に、事務局から連絡事項等ありましたらよろしくようお願いいたします。

**【事務局】**

次回の審査会は、7月11日(火)9時30分よりこの部屋の隣の第2委員会室の方で開催させていただきますので、よろしくようお願いいたします。以上です。

**【久会長】**

ありがとうございます。それでは、案件の方はすべて終了しましたけれども、これで閉会ということで委員の皆様もよろしいでしょうか。

<意見等なし>

それでは、次回7月11日9時半ということでお集まりいただければと思います。本日の選定審査会、以上にさせていただきます。